



こどもたちへの接し方

サッカー(からだを動かすこと・遊ぶこと)が大好きなこどもたちには
私たち大人のサポートが必要です。
指導者と保護者が共通理解のもとでこどもたちを育成していきましょう。

こどもたちの 発育発達について

- こどもたちの発育発達には、**個人差**があります。慌てず少しずつ習慣化していきましょう。
- すべてをこの年代から求める必要はありませんが、その年代からできることは自分でやらせましょう。

こどもたちへの接し方

- 自分自身でいろいろなことをやらせましょう。
- 答えを先に出して、これはダメ!ではなく、失敗した時に何が良くなかったのかを見つて、修正していきましょう。(答えを教えるだけでは、学習していきません。)いろいろな場面で「待つ」余裕を持ちましょう。
- こどもは失敗してもいいのです。大いに失敗をさせてあげましょう。
トライ&エラー、失敗からいろいろなことを学んでいきます。失敗をさせないようにしていたら学べません。
- うまくできた時には、必ず**誉めて**あげましょう。良かったら「良かった」とフィードバックしてあげましょう。

サッカーの場以外でも 心がけたいこと

こどもたちに望むことは日常的にも数多くありますが、豊かな人間性の育成とこどもたちの自立を目指して、以下のことに特に留意してください。

●意思表示

大きな声を出しましょう!

はっきりと、意思表示をしましょう。

大きな声で返事をしましょう。

いろいろな場面ですっきりとあいさつができるようにしましょう。握手をしましょう。

●自立

自分のことはなるべく自分自身でしましょう。

持ち物の整理整頓をしよう。

準備・片付けは、自分たちでしよう!

自分の用具、クラブの用具を大切にしよう指導しましょう。

●社会的ルール・マナー

「ありがとう」「ごめんなさい」を言えるようにしましょう。

時間を守りましょう。

●友だちづくり

たくさんの友だちと遊びましょう。

友だちを大切にしましょう。

・・・いろいろな関わりの中で衝突(けんか)することも大切な経験です。

こどもたち自身が「できないと自分が困る」「そうしたほうがいい」と少しずつ感じ、思えるように・・・。

指導者が言って「いいこと悪いこと」 オ二軍曹参上！子どもの声から

つい興奮して、熱が入りすぎて、子どもたちへの言葉かけ、話し方を冷静に自己分析できていない。子どもも指導者の言うことが分からなくてウロウロ。そんな指導者や子どもの姿を目撃されたかたも、きっといらっしやるでしょう。

気持ちや意見を聞いてくれない

6年生になって、いよいよチームの柱になってがんばろうと思っていました。これまでは、ベンチでの応援が多かったから、自分で考えて動くということは少なかった。でも迷っているうちにエラーしてしまったんです。そしたらコーチからは、「使えん奴だ。もう帰れ！」といわれました。ぼくの気持ちを聞いてくれないし理由も言ってくれません。もうやめよーかな。

納得できるように説明して！

私のチームの監督さんは、とにかく大きな声です。ゲームの時は「走れ走れ」とか「集中しろ」だけしか言わない。一所懸命やっているけど成績は伸びません。納得できるように説明してほしい。M子ちゃんはほかのチームに移りました。

グラウンドでのマナーが悪い

うちの監督、困るんです。マナーが悪いんです。平気でたばこをプカプカ、それも、グラウンドで。

ポケットに手を突っ込んで、「練習どおりだ。練習どおりやれよ。」と叫びます。チームがリードすると、時間かせぎで「ボールがきたらコートの外に出してしまえ」とハーフタイムに指示を出します。ぼくらはそんなことやりたくない。でも監督は言います。「勝つためにはいいんだよ。ファウルじゃないし、みんなやるんだから。しかたないでしょ！」と。たしかにゲームには勝ったけど、これでほんとにいいの？



なんか意味が分からない

コーチが言っていることがよくわかりません。「行け行け」「動けッ！」「そこだ。そこそこ」じゃ意味がわからない。低学年のときのコーチは、わかりやすい言葉で教えてくれたのになあ...

あなたは大丈夫？

5人の「オ二軍曹」を紹介しました。あなたは、日頃の活動あるいは交流大会などで、ここに示したような、話し方、言葉使いなどをしていませんか？

チェックしてみましょう。

- ①むやみに大声を出す
- ②意味がわからない話し方をする
- ③子どもの考えや意見などに耳を貸さない
- ④あたりかまわず汚い言葉で怒鳴り散らす
- ⑤練習場やゲームでのマナーが悪い

指導は、子どもがわかる適切な言葉で、しかも子どもが自分で考え論理的に理解できる話し方で行いましょう。また、言葉使いも態度もマナーを心得て、子どもが楽しくスポーツ活動ができるように指導する必要があります。